

「おいしい！広島」魅力ある広島の食への誘導支援業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 5 月 1 日（木） 9 時 00 分から 11 時 00 分まで
2	場 所	広島県庁本館 4 階広島県海区漁業調整委員会室
3	出席委員	・農林水産局農林水産ブランド戦略担当部長 ・農林水産局販売・連携推進課長 ・総務局広報課長 ・総務局施策形成支援チーム担当課長 ・広島県商工労働局観光課担当課長（観光魅力創造担当） ・農林水産局畜産課長 ・農林水産局水産課長（代理） ・東京事務所次長
4	議 題	企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	農林水産局 販売・連携推進課
6	開催方法	参集
7	議事内容	提案された企画提案を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位かつ評価基準に基づく各評価項目の配点の合計が 100 分の 60 以上の提案者を最優秀提案者として選定した。 1 提案者（最優秀提案者：◎） A 者：wolfram・ひろぎんエリアデザイン共同チーム（◎） 代表企業 株式会社 wolfram 構成企業 ひろぎんエリアデザイン株式会社 B 者：電通西日本 広島支社・中国新聞社チーム 代表企業 株式会社電通西日本 広島支社 構成企業 株式会社中国新聞社 2 各委員の主な評価・選定理由 【A 者】 ・広島への誘導支援という目的を十分理解し、目論見から取組内容が検討されており、おいしい！広島プロジェクト全体における連動性が期待できる。 ・食体験の創造の提案は、旅マエ、旅ナカ、旅アトの切れ目ない展開を目論んだ企画となっており、首都圏広報と連携すれば、効果は期待できる。 ・共感の波及の提案は、口コミを収集・発信できる仕組みを構築し、飲食店のインセンティブにもつなげることで、自律的な好循環へとつなげることが期待できる。

	・瀬戸内さかなと日本酒のペアリングに関する提案では、個別店舗の取組支援の具体的な内容の記載が不足している。 ・構成企業の役割を明確にしつつ、飲食店に直接赴き、寄り添った支援を充実すべきと感じた。 ・業務が一時期に集中する可能性が高いことから、実施に当たっては、他事業の情報をリアルタイムにキャッチし、環境変化に対応できる柔軟な業務実施を検討する必要がある。 【B者】 ・おいしさの共感を広げるための考え方は評価できるが、具体的な展開手法に活かされておらず、工夫の余地が認められる。 ・共感の波及にかかる提案は、おいしさの発信の誘導や伝える企画として有効性が見いだせない。 ・瀬戸内さかなと日本酒のペアリングに関する提案では、ユーザー目線で、情報をあえて絞るという工夫がおもしろく、モデル店舗の選定や、試食・試飲も含めた研修の実施は、参加者の意識を高めやすい。また、営業実証を通じて県民向けキャンペーンを実施することにより、ハッシュタグ投稿を更に促す工夫が見受けられる。 ・目標設定が、投下コストに応じて社会にインパクトをもたらしていると実感できる数値となっていない。
--	---